

抗 RecA 抗体、ウサギポリクローナル

61-003 50 µg, 61-004 250 µg

保存：4℃あるいは-20℃で送付、-20℃で保存。

免疫原：高度に精製した全長の組換え大腸菌 RecA タンパク質

形状：1.0 mg/ml in PBS- with 50% glycerol, フィルター滅菌

精製：抗血清を先ず recA 欠失細胞の抽出液で吸収し、次に精製した RecA タンパク質を用いたアフィニティカラムによって精製した。

反応性：E. coli RecA タンパク質、グラム陰性菌 RecA

用途

1. ウェスタンブロット法 (1/3,000 希釈)
2. 免疫沈降 (1/600 希釈)
3. 間接的免疫蛍光染色 (アッセイ依存)
4. ELISA (アッセイ依存)

背景：大腸菌 RecA タンパク質 (352 アミノ酸、38 kDa) は相同的組換え、組換え修復及び DNA 損傷応答 (SOS 制御) に最も重要な役割を果たす。

RecA は DNA 損傷に反応してその coprotease 活性によって LexA タンパク質の自己プロテアーゼ活性を活性化して切断させ、SOS レギュロンに属する多数の DNA 修復タンパク質 (RecA も含め) の産生を誘導する。

データリンク：UniProtKB/Swiss-Prot [P0A7G6](#) (RECA_ECOLI)

関連製品：[#01-001](#) 大腸菌 RecA たんぱく質、有活性

文献：Friedberg EC *et al.* DNA Repair and Mutagenesis 2nd Ed. ASM Press

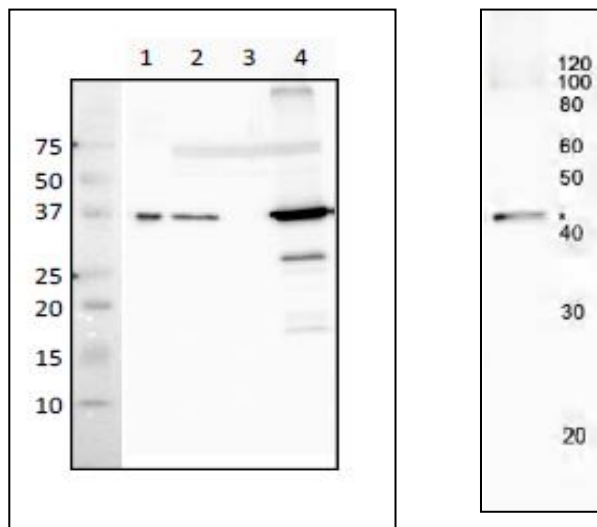


図 1. E. coli の粗抽出液中の RecA タンパク質のウェスタンブロット法による同定。レーン 1; 精製 RecA 8 ng. レーン 2, 野生型株粗抽出液. レーン 3, recA 欠失株粗抽出液. レーン 4; lexA 欠失株 (SOS 遺伝子を過剰発現)粗抽出液. 抗体は、1/3,000 の希釈で使った。細胞抽出物, 2µg

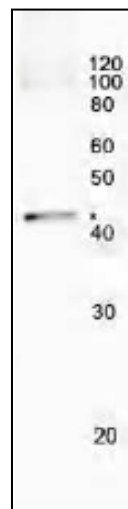


図 2. E. coli 細胞の粗抽出液中の RecA タンパク質の免疫沈降。超音波破碎大腸菌細胞の上清から抗体 2 µg を吸着させた proteinA 磁気ビーズで RecA タンパク質を沈殿させ、ウェスタンブロット法によって、沈殿物を解析した。